

タシギ（シギ科） 全長 27 センチ

今年も神宮寺の田んぼにタシギが飛来した。

下川原農道沿いに整備された大規模田んぼの長さは 200m もある。この畦道に、5～6 年前から毎年現れるようになった。警戒心が強いのか、農道から眺めると 100 から 200m も離れた場所で見つかります。ハトぐらいの大きさで、動きが少ないので簡単には見つかりません。長いクチバシが特徴であるが、全長、羽の色などオオジシギとよく似ていることから判別には苦労します。



眼は頭の先端部分に近い位置にある。

暫く待っていると畦道から田んぼの中に降りて行き、クチバシをボツボツと土の中に刺し込み始めた。何を探しているのだろうか。土の中に隠れていたミミズを引っ張り上げました。何匹かを食べ終わるとまた元の畦道に戻って来た。畦道は休憩場所なのでしょう。



大きなミミズを引っ張り上げた。



クチバシには土が付いています。

あの長いクチバシを開いたり閉じたりしていたが、突然先端が上向きに曲がりました。

鳥のクチバシは固いものだと思っていた固定観念が間違っていました。全く見えないミミズを、土の中からどうして探り当ててるのか不思議でした。

クチバシには繊細なセンサーがあり、触っただけで獲物が分かるのでしょうか。そして、獲物を引っ張り上げるには挟み込まなければなりません。その時、先端だけが曲がることから出来たのではないのでしょうか。こんなことを想像しながらの撮影でした。



上のクチバシ先端が曲がった。



羽ばたいた瞬間。